

まちづくり会議 質疑応答（東習志野・実花）

令和5年8月23日（水）18：00東習志野コミュニティセンター

| 質疑                           | 回答                                                                                                                             |
|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| おいしい水の水質目標で達成していない項目は        | 残留塩素。カルキ臭のもととなるが、安全面から下げることができない、水質基準として0.1以上の濃度が必要なのに対し、おいしい水の目標は0.5以下。現状0.5を僅かに超過している状態。あと一つは色度。                             |
| 水道管の更新期間は                    | 法定耐用年数は40年。現在採用している最新の水道管の実耐用年数は60年～80年といわれているが、確証はない。                                                                         |
| 地下水は夏冷たいと説明があった。最近は冷たさを感じないが | 地下水の割合が減り、北千葉からの受水を増やしているため。井戸の老朽化により汲み上げ可能量が減少し、動力費や更新費用を考慮して受水を増やしている。                                                       |
| 有収水量について、工業用水は別か             | 工業用水は、千葉県企業局である。                                                                                                               |
| 給水人口は、昼間人口かそれとも夜間人口か         | 給水区域内の居住者人口である。                                                                                                                |
| 水道管の耐震強度は基準に変更があったか          | 水道管については、耐震強度という数値での評価ではなく、耐震適合性があるかないかで判断する。市営水道の給水区域は地盤が良いこともあり、令和3年度末現在、耐震適合性を有している水道管が基幹管路の内56.3%であり、全国平均約40%を上回っている状況である。 |
| 地下水は枯渇しないか                   | 地下水については、老朽化により地下200m付近のメッシュリングに砂が溜まるなどポンプの能力が低下していることもあり、取水量を減らしている。県の取水規制もあり、取水量を制限しているが、枯渇しているというわけではない。                    |
| 36%の値上げは一括で行うのか。それとも段階的か。    | 一括で上げるのは、需要家の負担増からも難しいと考えている。段階的な値上げも含めて、検討・努力していく。                                                                            |
|                              | 改定率を抑えることの約束はできないが、要望があったことは受け止め、検討する。                                                                                         |
| ダウンサイジングを行っても、36%の値上げが必要か。   | 令和3年度の試算はダウンサイジングを行っていない。ただし、ダウンサイジングを行ったとしても、物価や人件費の高騰で、さらに改定率が高くなる可能性もある。現在、経営戦略の見直しを行っており、検討中。                              |
| いつ値上げするか                     | 具体的には検討中。令和6年度にかけて改定の必要性や改定率を検討する。                                                                                             |

|                |                                    |
|----------------|------------------------------------|
| 節水コマの配布をしてほしい。 | 企業局としては、水の使用量を増やしてほしいので、配布する考えはない。 |
|----------------|------------------------------------|

まちづくり会議 質疑応答（実籾・新栄）

令和5年9月1日（金）18：00実籾コミュニティホール

| 質疑   | 回答 |
|------|----|
| 質疑なし |    |

まちづくり会議 質疑応答（津田沼北部）

令和5年9月8日（金）19：00津田沼一丁目町会会館

| 質疑                                                | 回答                                                                                      |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ダウンサイジングの具体例は                                     | 給水場を3箇所から2箇所にする、数は減らさなくても規模を小さくするなどの検討をしている。                                            |
| 五差路にある井戸の廃止をしてほしい。道路が狭く不便だ。道路を広げる等の対策をしてほしい。      | 企業局としての対応は難しいが、ご要望として持ち帰ることとする。                                                         |
| 井戸のくみ上げで地盤沈下が進んでいる。70cmも沈下しているので、井戸の廃止を検討してほしい。   | 地下水の汲み上げは、千葉県環境保全条例の規制に従っている。企業局では、地盤沈下は地下水の汲み上げによるものと認識はしていない。廃止は難しいが、ご要望として持ち帰ることとする。 |
| 節水意識の高まりとの説明があったが、盛んに節水を呼び掛けていることと矛盾しないか。         | 夏季の渇水期など、節水をお願いしなければならないことはあるが、一方で使用量を増やしてほしい思いもある。                                     |
| 人口減少との説明があったが、習志野市に魅力がないことが理由ではないか。市への呼びかけをしているか。 | 魅力発信動画を作成し、インフラが整備されていることを企業局としても習志野市の魅力としてアピールしている。                                    |

まちづくり会議 質疑応答（藤崎）

令和5年9月10日（日）14：00藤崎ふれあいセンター 3 階

| 質疑   | 回答 |
|------|----|
| 質疑なし |    |

まちづくり会議 質疑応答（屋敷・花咲）

令和5年9月12日（火）19：00屋敷会館

| 質疑   | 回答 |
|------|----|
| 質疑なし |    |

まちづくり会議 質疑応答（本大久保）

令和5年9月19日（火）19：00プラッツ習志野北館1階集会室

| 質疑                                                            | 回答                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 近隣住民から水の勢いが弱いとの相談があった。企業局で水圧を下げることはあるか。                       | 企業局として水圧を下げることはない。近隣住宅で一斉に水を使うなどして、一時的に水圧が低下して、水の勢いが弱くなることはある。                                                       |
| エコキュートについて、故障が多い。県水に比べても多いようだが原因はあるか。                         | エコキュートにも地下水用など仕様に違いがあると聞いている。仕様によって、メンテナンス方法にも違いがあるようである。                                                            |
| 前回値上げは18年前とのことだが、これまで、検討してこなかったのか。議会に提案したのか。36%の改定率はかなり高いと思う。 | 料金改定について、検討はしていたが、議会に提案したことはない。これまでは、お客様の負担増とならないよう、経費の削減等の努力をしてきた。しかし、物価や動力費の高騰により、これ以上は、内部努力だけでは健全経営が維持できないおそれがある。 |
| 使用水量の減少について、原因分析をしているか。                                       | 明確な分析はしていないが、節水意識の向上と節水機器の普及の影響だと考えている。また、民間企業においても、節水意識の向上と工業用水への切り替えなどが行われている。                                     |
| 水道料金と下水道料金が違うのはなぜか。                                           | 水道と下水道はそれぞれ費用を計算して使用料として徴収している。そのため、料金が異なっている。                                                                       |

まちづくり会議 質疑応答（鷺沼台）

令和5年9月21日（木）19：00杉の子こども園

| 質疑   | 回答 |
|------|----|
| 質疑なし |    |



まちづくり会議 質疑応答（大久保・泉・本大久保・新栄）

令和5年10月1日（日）10：00市民プラザ大久保

| 質疑                                      | 回答                                                                                                                             |
|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 給水人口の減少を予想しているが、市の人口推計に基づいているか。         | 市の人口推計を基に推計をしている。                                                                                                              |
| 有収水量の減少の要因は何か。ペットボトルの水を飲むようになったことが原因か。  | 飲料水としての使用量はそれほど多くない。節水機器の普及と節水意識の浸透が大きな要因だと考えている。                                                                              |
| 夏は冷たいと説明があったが、今年の夏の水は冷たくなかったがなぜか。       | 井戸の老朽化による汲み上げ可能水量の減少と経営判断により、北千葉広域水道企業団からの受水量を増やしている。そのため、地下水の割合が減り、冷たくなってきた。<br>しかしながら、地下水も貴重な水源と認識しており、費用面も含めて検討し、維持管理をしていく。 |
| 部品の品質管理はどうなっているか。コスト削減を名目に海外製を使用していないか。 | 使用する部品については、日本水道協会の検査、承認を得たものを使用している。おそらく大部分は日本製である。                                                                           |